

写真展(個展) 目が合ったね！

～ 冬の簾舞の自然に魅せられて ～

今回のテーマは冬の簾舞の自然の中で暮らす生き物などと自分の目が合ったと感じた瞬間をおさめた写真たちです。僕は元々、冬が一番嫌いな季節でした。好きなウィンタースポーツもなく、行動も制限されて、楽しんで出来ることが少なかったからです。

ですが、冬のフワフワとした姿の愛くるしい表情のシマエナガとの出会いが、冬を迎えることに対して後ろ向きな気持ちから解放してくれて、前向きに過ごせるようになりました。

そして、冬にたくましく生きる小鳥たちや動物たちが自分が想像していたよりもいたこと。シマエナガやカラ類やコゲラなどの小鳥たちが仲良く混群でエサを求め、動き回っていること。また、冬ならではの素晴らしい自然現象や光景があるということ、に気づかされました。

春、夏、秋に比べ、色鮮やかな世界ではありませんが、冬のほうが生き物たちの姿を見つけやすく、観察もしやすく、小鳥たちとの距離も近くなれる気がします。

僕は仲良しの小鳥たちの輪の中に入り、その輪の中から小鳥たちの動きを観察する時間が一番好きで癒される時間です。時には小鳥のほうから僕に対してアピールをしているように感じる場面や視線の奪い合いみたいに見える場面に遭遇することもありました。ゴジュウカラを観察していたら背後にあった枝にシマエナガが飛んで来たり。良い表情の小鳥と目が合ったと感じた瞬間は何とも言えない幸福感に満たされます。そんな世界が写真から伝われば嬉しいなと思います。

今回の写真展は、冬を迎えるのに対して、後ろ向きな方に特に響いて欲しいですし、そういった方々が冬に対して少しでも前向きに迎えられるようになれば、僕にとっても特に嬉しいことです。

また、冬を迎えることに前向きな方にとっても、知らなかった冬の自然の素晴らしさが伝わり、前よりも冬を迎えることが少しでも楽しみになれば、それも嬉しいことです。

多くの方に、僕が撮影してきた冬の自然の世界をみていただき、何かを感じていただきたいです。毎週土曜日、在廊予定です。いろんな方とお話し出来ることもとても楽しみにしています。

また、今回はハガキサイズの写真とシマエナガのロゴ入りの革小物も販売予定です。



早川 和希 (自然びとの写真家)

冬の間は小鳥などの野鳥をメインとし、他にも惹かれた自然現象なども撮影している。自然写真家。簾舞にある革工房(NPO法人)羽原コレクションで、革職人としても活動。

1988年生まれ、北海道生まれ北海道育ち、簾舞在住。小さい頃は虫取り少年。

小さいころから自然に親しみを感じていた。一人で自然の中にいても孤独には感じない。

自然の中に入ると、必ずと言っていいほど、野生の生き物との出会いがある。

今の周りからの呼ばれ方は、自然びと、シマエナガのお兄さん、インディ・ジョーンズなど。

冬以外は野鳥、カエル、昆虫、植物などを撮影。

2025年11月1日(土) ～ 15日(土)

12:00 ～ 17:00

4日(火)・5日(水)・11日(火)・12日(水)休業

会場 hot cafe ほった館

札幌市南区簾舞4条3-4-25 虹のしっぽ

★入場料無料、カフェでワンオーダーお願いします。

▶問合せ:Tel&Fax 011-206-0804 E-Mail:mokele@rr.ij4u.or.jp

▶駐車場あり、ご利用したい方は事前にご連絡下さい。

交通 ○札幌駅「じょうてつバス26番のりば」

- ・定山溪・豊平峡温泉行または豊滝行 乗車約60分「東簾舞」下車 徒歩約5分
- ・簾舞団地行 乗車約57分「簾舞団地」下車 徒歩約15分

○真駒内駅「じょうてつバス4番のりば」

- ・定山溪温泉行または豊滝行 乗車約30分「東簾舞」下車 徒歩約5分
- ・簾舞団地行 乗車約27分「簾舞団地」下車 徒歩約15分



僕も大好き
美味しい
ほった焼きもあるよ!

